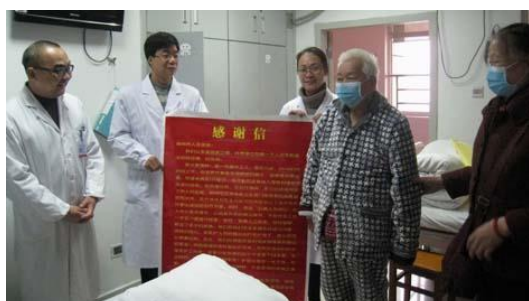


柳州新聞： 当市の H5N1 鳥インフルエンザ患者が退院

柳州新聞 www.lznews.gov.cn 2014-03-01 09:23:49 来源：柳州晚报



【ニュースのコア】

昨日（2月28日）早朝、市の人民医院に入院していた蒙さん（76歳）は、早起きをしていた。奥さんが衣服を着替えるのを助け、彼の為にマスクをつけてあげた。蒙さんはベッドに腰掛けて、静かに退院手を待っていた。病院の面かいに来た病院スタッフに対して、彼と奥さんは感謝をし、指でVサインを作った。蒙さんは広西自治区では2009年来第二番目の患者、そして、当市においては初のヒト感染 H5N1 鳥インフルエンザ感染患者である。昨日、彼は治癒退院した。記者 羅世華

危うい状態で入院治療に

蒙さんの奥さん黄さんは、記者に対し、（蒙さんは）退職後ずっと融安县に居住しており、春節の頃もずっと融安に居住していたと語った。更に、今年春節前に、蒙さんが柳州の息子の家に来て寝泊りをしており、この息子の家が、立ち退きを迫られている家であり、僅かな住人がいまだに棲んでいただけだった。2013年11月ごろのこと、奥さんの黄さんは、10羽の生きた鶏を購入し、既に空室となっていた向かいの部屋に放し飼いにし、鶏が美味しくなるまでもう少し育てようとしていた。その後黄さんが、鶏を絞めてこれを食したのだと語った。

2014年1月27日、春節を目前に控え、蒙さんは息苦しさで39.4度の発熱、咳や痰、疼痛、胸苦しき、呼吸困難の症状が現れたため、市新民員の急診科にて診察を受けた。その後、彼は重症肺炎として当該医院の呼吸器内科にて治療を受けた。29日午後6時ごろ、蒙さんの容体が悪くなり、重症医学科に移された。この際、蒙さんは、血圧低下が著しく、肺部病変の進展も進み、容体はかなり悪かったが、病院が即座に蒙さんに対して全力を挙げた治療をおこない、且つ最先端のモニタリング機器や治療設備も導入した。

1月30日春節のイブ。当日早朝、市人民医院の医師が、蒙さんのエックス線の映像を見て肺炎とは違うことを見つけた。家族との交流を経て、医師は、蒙さんが鳥インフルエンザではないかと疑った。病院は直ちに予防管理応急対応プランを発動し、専門家グループのメンバーを集めて、蒙さんに対する会診を実施した。同日午前10時頃、病院は患者のサンプルを採取し、まず医院内部の抗ウイルス（抗インフルエンザ）薬タミフルを使用し、同時に医院は市疾病管理センターに対する緊急報告を行った。

ヒト感染 H5N1 鳥インフルエンザへの感染を確診

1月30日午後5時頃、市疾病管理センターは、スタッフを病院に送り、疫学調査並びにサンプル採取と検査の為にサンプル送致を行い、当日夜10時、検査の結果、患者から H5N1 核酸陽性反応が出た。市衛生局は直ちに組織介入して治療活動にあたった。

1月31日午後3時ごろ、患者のサンプルは自治区疾病管理センターに到着。2月1日早朝6時頃、自治区疾病管理センターでも H5N1 陽性反応が確認された。自治区衛生庁の専門家グループは患者の疫学的データと臨床症状並びに実験室での測定結果に基づき当該患者をヒト感染 H5N1 鳥インフルエンザ患者であると確診した。これは、広西自治区では、2009年来のヒト感染 H5N1 鳥インフルエンザ患者第2号となった。

2月1日午前、当市で緊急会議が開催され、惜しめない患者治療をするようにとの要求が出された。市疾病管理センターは直ちに、予防管理緊急対応プランを発動し、患者の家庭環境や鶏の行方など調査には行った。同時に、患者の家の鶏を飼育していた場所や環境への消毒を実施した。調査の結果、患者の家で1月26日に1羽の鶏を屠殺してこれを食していたこと、1月30日に4羽を親戚にプレゼントし、残った鶏（宮本注：10羽購入し、1羽を26日に食べ、30日に親戚に4羽をプレゼントしているの、残った鳥は5羽ということになります）を自宅で絞めてこれを食していたことが判明した。

疾病管理部門は、直ちに患者と濃密接触のあった 10 名の親戚・友人及び病院の医療スタッフ 6 名に対する追跡をし、一週間の医学観察を行ったが、これら 16 名の濃密接触者からは異常はみられていなかったため医学観察措置を解除した。

2 月 1 日午後、自治区衛生庁の李国堅は 2 名の専門家を率いて柳州に赴き治療工作の指導に当たった。これと同時に、市幹部は医院に対し毎日患者の状況を報告するように要求した。市人民医院重症医学科や感染科、呼吸器内科、栄養科、予防保健科、リハビリ科など多くの関連部門と連動し、強力な治療段を組成し、全力で患者の治療にあたった。

患者は回復し昨日退院

患者には糖尿病と高血圧、心臓病、左腎臓の切除といった基礎疾患があったために治療難度はかなり高いものだった。が、市人民医院の医療スタッフによる心のこもった治療により、患者の容体は徐々に安定していった。2 月 10 日、患者は抜管され、2 月 12 日、13 日、市疾病管理センターは、患者の痰液サンプルの検査で前後して陰性の結果が出たため、患者には伝染性がないと判断し、隔離治療から普通病室での治療に切り替えた。

昨日、蒙さんは治癒退院したが、彼の各機能やバイタルは基本的に回復していた。治療をしてくれた医療スタッフたちがやってきたのを見て、蒙さんと黄さんは絶えず感謝の意を表していた。蒙さんの精神状態も非常に良く、みんなと楽しそうに歓談していた。

市人民医院重症医学科の王晓源主任は、「患者の治療成功は、主に、各級指導者が高度にこれを重視して、医院の多くの科室が連動しての協力が得られたために速やかに患者の治療にあたれたことによる」と語った。

<http://www.lznews.gov.cn/show-33-86337-1.html>

..... 以下は中国語原文

柳州新闻网 我市 H5N1 禽流感患者治愈出院

柳州新闻 www.lznews.gov.cn 2014-03-01 09:23:49 来源：柳州晚报

昨天一大早，在市人民医院住院的 76 岁的蒙先生早早起床。老伴照顾他穿好衣服，为他戴好口罩。蒙先生下床坐在凳子上，安静地等待办理出院手续。面对医院来看望他的医护人员，他和老伴不停地感谢大家，并伸出手指做了一个胜利的手势。蒙先生是广西自 2009 年以来确诊的第二例、我市首例人感染 H5N1 禽流感病例。昨天，他治愈出院。〇〇记者罗世华

病情凶险进入医院救治

蒙先生的老伴黄女士告诉记者，蒙先生退休后一直住在融安县，往年过年也是在融安过。今年春节前，老人来到柳州，住在孩子的房子里。

这套房子是要拆迁的房子，整栋楼房还有几户人家没有搬走。大概在 2013 年 11 月，黄女士购买了 10 只活鸡，放在对门已经搬空的房子里，想养一阵子“让鸡变得好吃一点”。后来，黄女士杀了几只鸡来吃。

2014 年 1 月 27 日临近春节，蒙先生因气促、发热 39.4℃，并有咳嗽、咳痰、头痛、胸闷、呼吸困难等症状，到市人民医院急诊科就诊。后来，他被以重症肺炎收入该院呼吸内科治疗。29 日下午 6 时许，蒙先生病情加重，之后转到重症医学科。此时，蒙先生血压下降很快，肺部病变进展迅速，病情十分凶险，医院迅速组织对蒙先生进行全力抢救，并动用了所有最高端的监测和治疗设备。

1 月 30 日大年三十。当天早上，市人民医院医生发现，蒙先生拍片的影像学跟肺炎有所不同。经与家属交流，医生怀疑病人患的极可能是禽流感。医院立即启动了防控应急预案，召集专家小组人员对蒙先生进行会诊。当天上午 10 时许，医院对病人进行采样，并在第一时间使用医院储备的抗病毒（抗流感）药物达菲。与此同时，医院紧急向市疾控中心报告。

确诊为人感染 H5N1 禽流感

1 月 30 日下午 5 时许，市疾控中心派出人员到医院开展流行病学调查，并采样送检。当晚 10 点，检测结果显示，病人 H5N1 核酸阳性。

一个小时后，疾控人员紧急赶赴医院再次采样。1 月 31 日大年初一凌晨 2 时许，经复核检测，病人仍是 H5N1 核酸阳性。市卫生局即刻介入组织抢救工作。

1 月 31 日下午 3 时许，病人样本送到自治区疾控中心。2 月 1 日早晨 6 时许，自治区疾控中心复核为 H5N1 阳性。自治区卫生厅专家组根据患者流行病学史、临床表现和实验室检测结果，判定为人感染 H5N1 禽流感病例。这是广

西自 2009 年以来确诊的第二例人感染 H5N1 禽流感病例。

2 月 1 日上午，我市召开紧急应急会议，要求不惜一切代价抢救患者。市疾控中心迅速启动了防控应急预案，对病人的家庭环境、禽类去向等进行调查，并对病人家的养鸡场所、环境进行消毒。经调查，病人家里于 1 月 26 日宰杀了一只鸡来吃，1 月 30 日将其中的 4 只鸡送给了亲戚，剩下的鸡自己宰杀来吃。

疾控部门立即对与病人密切接触的 10 名亲朋好友和医院 6 名医护人员进行追踪、随访，经过一个星期的医学观察，这 16 名密切接触者没有发现异常，可解除医学观察措施。

2 月 1 日下午，自治区卫生厅厅长李国坚带领两个专家组抵达柳州，指导抢救工作。与此同时，市领导要求医院每天将病人的情况进行汇报。市人民医院重症医学科、感染科、呼吸内科、营养科、预防保健科、康复科采取多学科联动，组成了强大的救治团队，动用了所有力量对病人进行抢救。

病人恢复良好昨出院

由于病人患有糖尿病、高血压、心脏病、左肾切除术后等基础疾病，救治难度相当大。但是，经过市人民医院医务人员的精心治疗，病人病情逐渐稳定。2 月 10 日，病人拔管。2 月 12 日、13 日，市疾控中心先后对病人痰液采样检测显示，两次结果均为阴性，表明病人已没有传染性，随即解除隔离转入了普通病房接受进一步治疗。

昨天，蒙先生治愈出院，他的各项肌能、体征基本恢复。看到医院负责抢救自己的医护团队到来，蒙先生和老伴不断感谢大家。蒙先生的精神比较好，和大家交谈甚欢。

市人民医院重症医学科主任王晓源说，病人抢救成功，主要归功于各级领导高度重视，医院多学科联动，全力配合，及时抢救患者。

20140301A 柳州新聞：当市の H5N1 鳥インフルエンザ患者が退院